

令和7年度山形県立米沢栄養大学大学院（第二次募集）

一般選考について

◆解答例 ※実際に入学者選抜で選択された問題のみ抜粋

【問7】

高齢者の低栄養は、食欲低下、咀嚼・嚥下困難、単独生活など様々な要因が複合的に絡み合い、健康状態の悪化、寝たきりや介護が必要になるリスクを高める。

低栄養の特徴としては、体重減少、筋肉量低下、倦怠感、免疫力低下などが挙げられる。これらは、感染症にかかりやすくなったり、創傷治癒の遅延などの問題を引き起こす可能性がある。そのため、栄養管理では、栄養状態、生活状況等を把握・評価し、その上で、一人ひとりに合わせた適切な食事を提供することが求められる。問題点としては、本人の栄養に関する知識不足、経済的な問題、介護者の負担などが挙げられる。これらの問題を解決するためには、地域医療における多職種と地域社会が連携し、包括的な栄養ケアを提供していくことが重要である。

【問8】

合併症がない糖尿病患者の栄養管理は、血糖や体重をコントロールして合併症を予防するために重要な役割を果たす。食事療法では、糖尿病の代謝異常を是正するために、適正なエネルギー量の摂取、栄養素のバランスがよい食事、規則正しい食習慣が基本となる。指示エネルギー量は、目標体重(kg)×エネルギー係数(kcal/kg)より算出したエネルギー摂取量を基に設定する。目標体重は、65歳未満であれば標準体重(BMI22kg/m²)とする。栄養食事指導では、食習慣を把握するとともに問題点を抽出して、患者個々の食生活状況を考慮した食事計画を作成する。さらには、患者本人が実施可能な目標を設定することで、食事療法を継続させることが重要である。

【問9】

1. 食品や調味料に含まれるビタミンやミネラルなどの微量栄養素の含有量を意図的に増加させることにより、食糧の栄養品質を向上させ、健康へのリスクを最小限に抑えながら公衆衛生上の利益を提供すること。
2. 微量栄養素欠乏症の予防、軽減、および制御

3. 子供、妊婦、社会保障の受益者など
4. 食事に関連する非感染性疾患の削減政策との整合性
5. （採点基準等）

全体の文章構成や論理性、内容の適切性や独自性、文章表現といった採点基準に基づいて採点を行った。なお、誤字脱字、指定字数を守っていない場合はそれぞれ減点した。